

～ 第3回かわにし市民会議 改善提案シートまとめ～
【第2班 子育て・教育の充実】

1 教育

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
シンボル	特徴のある学校が少ない	・学力の向上		・公立中高一貫校の設立
学力	学力の低下	・学習会のボランティアに参加する	・学習会の場を作る ・親にその情報を教える	・教員をめざしている人に参加してもらい、採用試験の際に利用する

2 子育て

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
検診・教室	両親学級のゴールが出産になっている	・産後の情報を集めて準備しておく		・両親学級の内容を「産後」のを中心にする
産後	産後のケアがされていない	・夫婦で気持ちを伝える ・周囲に頼る ・制度を利用する ・情報を知ろうとする ・場を調べて、家を出る ・先輩としてお伝えする	・子育て中の人に声をかける ・公民館などで給食会をする ・父親対象の料理教室 ・産後うつについて情報をオープンに ・産後うつについてのサポート	・全体的な主催、広報、宣伝など ・アプリを活用した夫婦で子育てできる環境づくり ・産後の保護者の声、ドクターの声をまとめて、産前に伝える ・出産後、なんでも手伝ってもらえるヘルパークーポンを配布する。(シルバー人材センターの協力、アプリ化し使いやすくする) ・産後ケアのプログラムを紹介 ・保健センターで産後ケアのセミナーをする(出産後プログラムに加えて必須とする)
つながり	子育てママの孤立化	・夫婦間での話し合い ・育児マップを活用する ・アプリ「まちかご」をダウンロードする	・近所で出産した人がいればなるべくかわられる方法を考える ・各地域のイベント、行事、交流会などを発信する	・情報の発信方法を考える(アプリに集約する等) ・子育ての終わった人や最中の親は情報を持っているため、それを伝えていく
	母親がリラックス(休める)場所が少ない	・知り合いの手伝いに行く	・母親が頼れる場所、環境を作る ・近所の人とのかかわり(信頼関係)を築いて預ける	・ウェブサイトやアプリで情報を公開する。 ・申込を先着順でから変える。 ・母親たちが全体で集まれるようにする。

2 子育て（続き）

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
つながり	子連れで集える場が活用されていない、少ない	・集える場の情報を人に伝えていく	・気軽に集える場所づくりに協力する	・「父親も歓迎」と記載する ・公民館などを使いやすくする
	・公民館の開放	・話せる場になるよう、地域と共に協力		・予約をとりやすくする ・床をプレイマットを使用できる対策
	交流の場があっても仲間に入れない	・得た情報をいろんな人にお伝えする	・安価でプレイルームの貸し出し ・気軽に集える場所づくりに協力する	・専門家も入った食事でもできる場所作り
	・プレイルームに初回入るのが難しい	・入る勇気を持つ ・集える場の情報を人に伝えていく		・外からも中が見えるようにする ・イベントの開催など行ってもよい理由をつけてもらう
	・男親だけで子ども（未就学児）と行くところがない	・情報収集	・場の提供をできるコミュニティづくり	・キセラ川西プラザ等を土日も開くなど利用できるハードルを下げる
	子ども食堂	・子ども食堂への参加	・子ども食堂の良さを知る ・手伝い、やりくりのスムーズ化をはかる	子ども食堂を開く機会（ベース）をつくる
情報	母子手帳が活用しにくい	・夫婦で共有、父親にも書いてもらう ・よく使うページに印をつける ・市が作成したアプリをインストールし、情報を登録する ・市が作成したアプリを他の人に広める	・市が作成するアプリに対し、地域の情報を入れる（アプリの要件定義が必要）	・アプリ作成 ・「親子手帳」に名前を変える
	情報発信			・アプリを作成し情報を気軽に確認できるようにする。
	男性が子育てに関する情報を入りにくい	・口コミで伝える		・窓口でパンフレットを配布する

（意見）

- ・中高生が保育園児ぐらいの子とかかわれるようなものがあったらどうか

3 くらし

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
遊び場	公園利用が少ない		・自治会あるいは老人会等で公園掃除をして地元愛を培う	・遊具等の保全、設置

4 人口

分類	課題点	個人としてできること	地域としてできること	行政の役割
こども	出生率がひくい			